

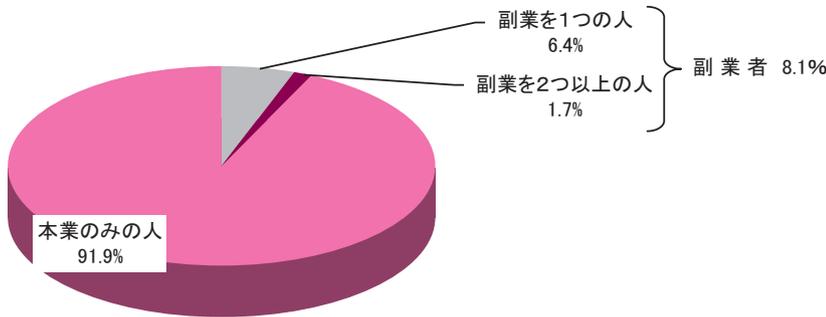
＜特別企画＞

仕事を複数持つ人 「副業者」の実情

—就業状態、収入、労働時間など副業者の素顔にアプローチ—



図表1：副業者の割合（単位：％、n=133,522）



※「仕事をしている」と回答した者を対象に集計。

近年、非正規雇用の増大など就業形態が多様化し、勤労者の就業意識も変化するなかで、仕事を複数持つ人（以下では、仕事を複数持つ人を「副業者」と略す）も見られるようになってきている。しかし、副業者が本業、副業それぞれで得ている収入や労働時間など

JILPT
副業者の就労に関するアンケート調査
8・1%が副業を行う

具体的な就労状況については、これまであまり調査されていないのが実情であった。そこで当機構では、副業における就業形態や賃金、労働時間等の実態を明らかにするため、実際に副業を行っている人を対象としたアンケート調査を実施した（本調査は、厚生労働省からの要請をうけて行ったものである）。

調査方法は、インターネットを利用したWEB調査。調査対象は、楽天リサーチ株式会社保有する全国の約一三六万人（調査実施時点）の登録モニター（以下、「モニター」という）のうち、モニター登録上の職種が①「公務員・団体職員」②「高校生以下の「学生」③「無職」④「その他」となっている者を除く一八歳～六四歳の男女、八二万五二〇〇人。調査期間は、二〇〇七年一月二二日から同月二九日。有効回収数は、調査対象八二万五二三〇人に調査回答依頼のメールを送信し、一七万四三二八人から有効回答を得た。有効回答率は二一・一％である。今回のWEB調査では、まず、調査対象者（副業者）を絞り込むためのスクリーニング調査をモニターに実施したうえで、副業者に対して本調査（副業が一つの雇用調査票）、「副業が二つ以上の雇用調査票」に回答してもらう方法をとった（1）。なお、本業のみ

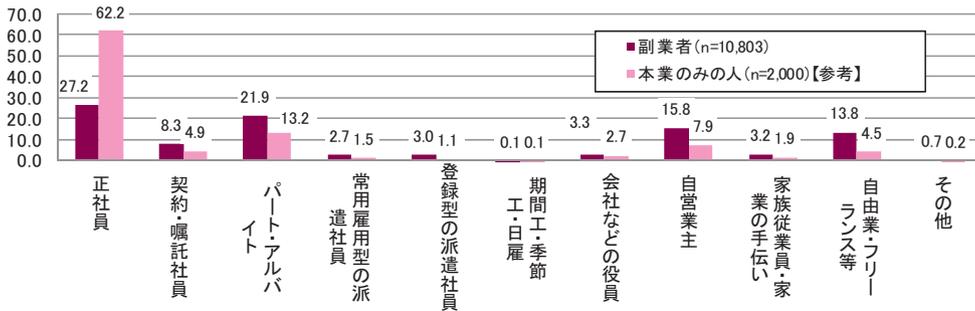
の人（副業をしていない人）についても、「本業のみの人用調査票」に回答してもらっており、比較サンプルとして回答した者のうち二〇〇〇サンプルをランダム・サンプリングにより抽出して集計している。

1. 副業者の割合

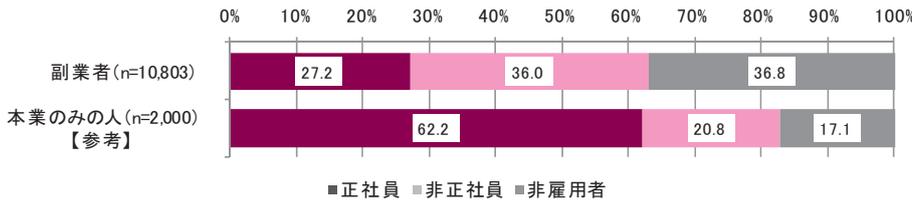
調査では、「仕事をしている」と回答した人（一三万三三二二人）に対し、仕事の数を尋ねている。それによれば、「本業のみの人」が九一・九％となっており、ほとんどの人が副業を持っていない。「副業一つの人」は六・四％、「副業二つ以上の人」は一・七％であり、仕事を持っている者のうち、副業者の割合（「副業一つの人」＋「副業二つ以上の人」）は、八・一％だった（図表1）。

副業者の本業の就業形態をみると、「正社員」が二七・二％でもっとも割合が高く、次いで、「パート・アルバイト」が二一・九％、「自営業主」が一五・八％、「自由業・フリーランス等」が一三・八％などの順。本業のみの人（副業を持っていない人）の就業形態と比較すると、本業のみの人の一六・二％が「正社員」となっており、副業者に比べその割合は高い。一方、「正社員」以外の就業形態では、いずれも副業者のほうが本業のみの人に比べ割合が高く、とくに、「自由業・フリーランス等」「パート・アルバイト」「自営業主」などの割合が高くなっている（図表2）。

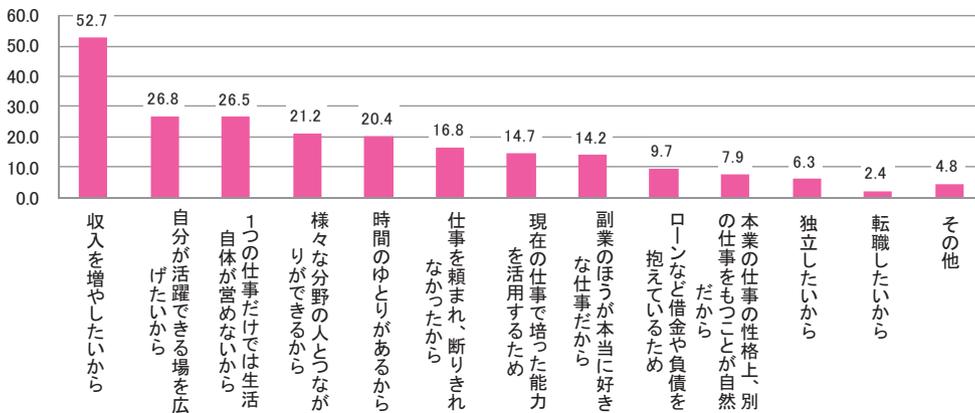
図表2 副業者の本業の就業形態（単位：％、n=10,803）



図表3 副業者の本業の就業形態（単位：％、n=10,803）



図表4 副業している理由（複数回答、単位：％、n=10,803）



総じて言えば、副業者のほうが本業のみの人に比べ、本業が正社員である割合が低い。本業のみの人に比べ、副業者には本業が非正社員や非雇用者の割合が高く、とくに本業が「パート・アルバイト」や「自由業・フリーランス」「自営業主」をしている割合が高いようだ。

2. 副業の理由と副業希望者の割合

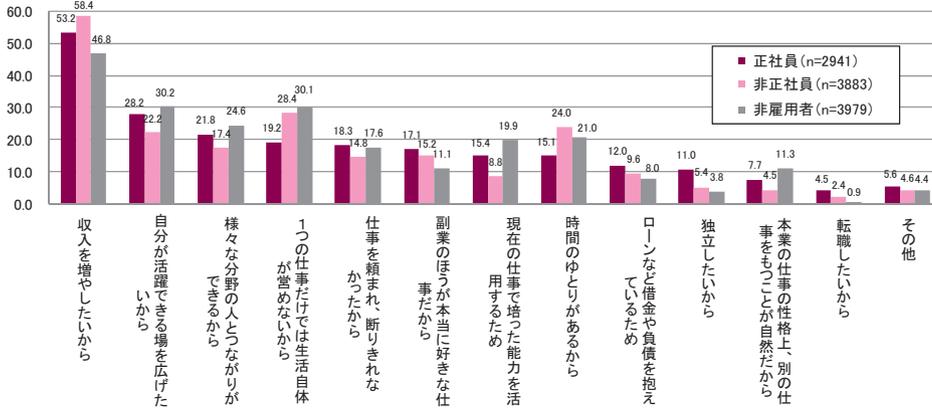
(1) 副業者が副業する理由

副業者に対し、副業をしている理由を尋ねたところ、「収入を増やしたいから」が五二・七％でもっとも多く、次いで「自分が活躍できる場を広げたいから」「一つの仕事だけでは生活自体が

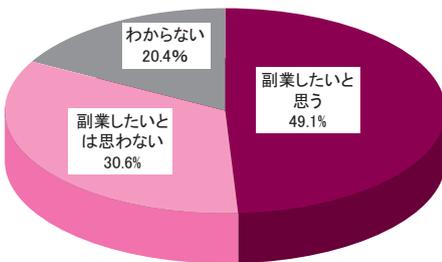
営めないから」「様々な分野の人とつながりができるから」「時間のゆとりがあるから」などの順であった（図表4）。これを本業の就業形態別（三区区分）にみると、いずれの就業形態も「収入を増やしたいから」の割合がもっとも高かったものの、「正社員」では、次いで「自分が活躍できる場を広げたいから」「様々な分野の人とつながりができるから」が続き、一方、「非正社員」では、「一つの仕事だけでは生活自体が営めないから」「時間のゆとりがあるから」などが続き、「非雇用者」では、「自分が活躍できる場を広げたいから」「一つの仕事だけでは生活自体が営めないから」などが続く。

理由ごとに就業形態別の状況をみると、「自分が活躍できる場を広げたいから」「様々な分野の人とつながりができるから」「現在の仕事で培った能力を活用するため」「本業の仕事の性格上、別の仕事を

図表5：副業している理由（本業の就業形態別、複数回答、単位：％）



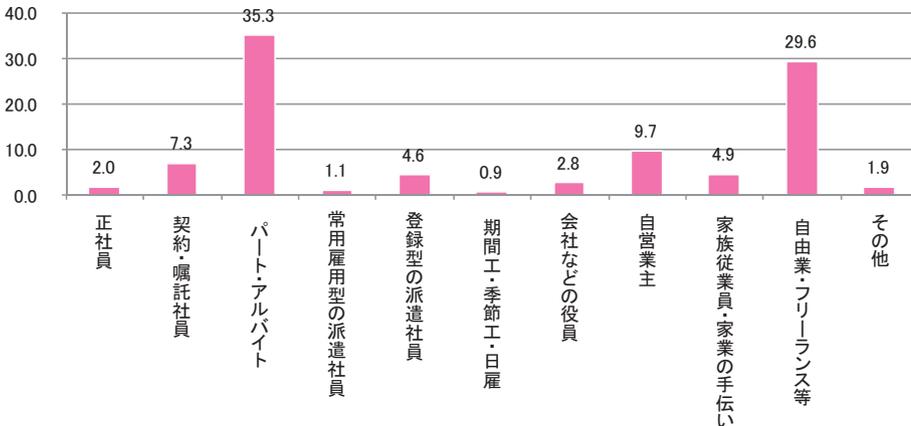
図表6：今後、副業したいと思うか（本業のみの人、n=2,000、単位：％）



図表7：今後、副業したいと思う理由（複数回答、n=982、単位：％）



図表8：副業の就業形態（n=10,803、単位：％）



もつことが自然だから」は、「非雇用者」で割合が最も高く、「正社員」、「非正社員」の順となっている。「一つの仕事だけでは生活自体が営めないから」という理由については、「非雇用者」で割合が最も高く、「非正社員」、「正社員」の順となっている。「時間のゆとりがあるから」は、「正社員」で最も高く、「非雇用者」、「非正社員」の順となっている（図表5）。

（2）本業のみの人への副業希望
 本業のみの人に対して今後副業をしたいと思うかを尋ねたところ、「副業したいと思う」が四九・一％とほぼ半数に達し、「副業したいとは思わない」が三〇・六％、「わからない」が二〇・四％であった（図表6）。本業のみの人であっても、約半数が副業をしてみたいと考えていることになる。

本業のみの人で「副業したいと思う」と答えた人に対し、その理由を尋ねたところ、八割以上が「収入を増やしたいから」（八七・七％）をあげている。次いで「自分が活躍できる場を広げたいから」（二四・二％）、「ローンなど借金や負債を抱えているため」（一九・二％）、「一つの仕事だけでは生活自体が営めないから」（一八・九％）、「様々な分野の人とつながりができるから」（一七・一％）などとなっていた（図表7）。

3. 副業の就業形態及び仕事内容

（1）副業の就業形態

副業者の副業の就業形態は、「パート・アルバイト」が三五・三％でもっとも割合が高く、次いで「自由業・フリーランス等」（二九・六％）、「自営業主」（九・七％）、「契約・嘱託社員」（七・三％）などの順であった（図表8）。副業者の就業形態は、「パート・アルバイト」「自由業・フリーランス等」で六割強を占める。

副業の就業形態を本業の就業形態別にみると、本業が正社員の場合、副業で「パート・アルバイト」が三・〇％ともっとも多く、次いで「自由業・フリーランス等」が三〇・七％となっている。本業が「パート・アルバイト」の場合、副業も同じ「パート・アルバイト」である者が六一・〇％と六割を占めている。本業が「自由業・フリーランス等」では、副業も「自由業・フリーランス等」という者が五六・六％と半数を超えている（図表9）。

本業と副業ともに、大括りの就業形態（三区分別）で、本業の就業形態と副業の就業形態の組み合わせタイプ別に

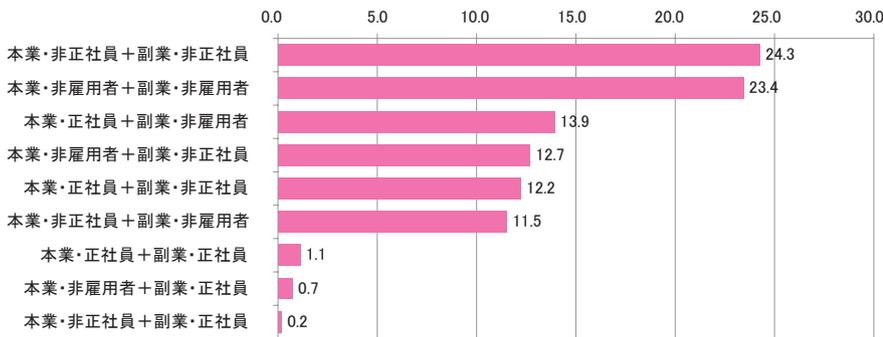
図表9：副業の就業形態（本業の就業形態別、単位：％）

| 本業の就業形態 | 全体(n) | 副業の就業形態 | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------|---------|---------|-------|-----------|------|-----------|----------|------|--------|---------|------|-----------|---------|-------------|
| | | 正社員 | 契約・嘱託社員 | アルバイト | パート・アルバイト | 社員 | 常用雇用の派遣社員 | 登録型の派遣社員 | 日雇 | 季節工・日雇 | 会社などの役員 | 自営業主 | 家族従業員の手伝い | フリーランス等 | 自由業・フリーランス等 |
| 全体 | 10,803 | 2.0 | 7.3 | 35.3 | 1.1 | 4.6 | 0.9 | 2.8 | 9.7 | 4.9 | 29.6 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | 1.9 |
| 正社員 | 2,941 | 4.0 | 7.8 | 33.0 | 0.5 | 2.8 | 0.7 | 3.0 | 10.6 | 4.9 | 30.7 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | 1.9 |
| 契約・嘱託社員 | 894 | 0.6 | 19.1 | 35.0 | 1.9 | 5.9 | 0.7 | 1.0 | 6.0 | 3.0 | 25.8 | 0.9 | 0.9 | 0.9 | 0.9 |
| パート・アルバイト | 2,362 | 0.4 | 2.9 | 61.0 | 0.6 | 4.9 | 1.1 | 0.3 | 2.2 | 5.7 | 19.2 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 |
| 常用雇用の派遣社員 | 295 | 1.0 | 4.7 | 34.9 | 9.8 | 12.5 | 0.0 | 0.0 | 5.4 | 5.4 | 25.4 | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 0.7 |
| 登録型の派遣社員 | 321 | 0.3 | 2.2 | 30.8 | 2.5 | 27.7 | 0.3 | 0.3 | 5.0 | 6.2 | 23.4 | 1.2 | 1.2 | 1.2 | 1.2 |
| 期間工・季節工・日雇 | 11 | 0.0 | 0.0 | 27.3 | 0.0 | 0.0 | 18.2 | 0.0 | 18.2 | 9.1 | 27.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 会社などの役員 | 360 | 4.2 | 7.2 | 7.5 | 1.1 | 1.7 | 0.6 | 33.1 | 16.4 | 2.2 | 22.5 | 3.6 | 3.6 | 3.6 | 3.6 |
| 自営業主 | 1,706 | 2.4 | 9.2 | 24.3 | 0.8 | 2.2 | 1.1 | 3.4 | 27.2 | 3.5 | 24.4 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.6 |
| 家族従業員・家業の手伝い | 346 | 0.6 | 4.9 | 35.0 | 0.6 | 4.0 | 1.4 | 1.4 | 8.1 | 13.9 | 27.2 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 2.9 |
| 自由業・フリーランス等 | 1,493 | 1.3 | 5.8 | 20.6 | 1.2 | 4.0 | 0.7 | 1.1 | 3.1 | 4.2 | 56.6 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 |
| その他 | 74 | 1.4 | 9.5 | 17.6 | 1.4 | 2.7 | 0.0 | 2.7 | 23.0 | 23.0 | 36.5 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 |

※本業と副業で同じ就業形態の箇所に網掛け。

それぞれの割合をみると（以下、「本業と副業の就業形態の組み合わせタイプ別」と略す）、「本業・非正社員＋副業・非正社員」が二四・三％でもっとも割合が高く、本業、副業ともに非正社員をしている者の割合がもっとも多かった。次いで「本業・非雇用者＋副業・非雇用者」（二二・七％）、「本業・正社員＋副業・正社員」（一・一％）、「本業・非雇用者＋副業・正社員」（〇・七％）、「本業・非正社員＋副業・正社員」（〇・二％）の順となっている。

図表10：本業と副業の就業形態の組み合わせタイプ別の割合（n=10,803、単位：％）



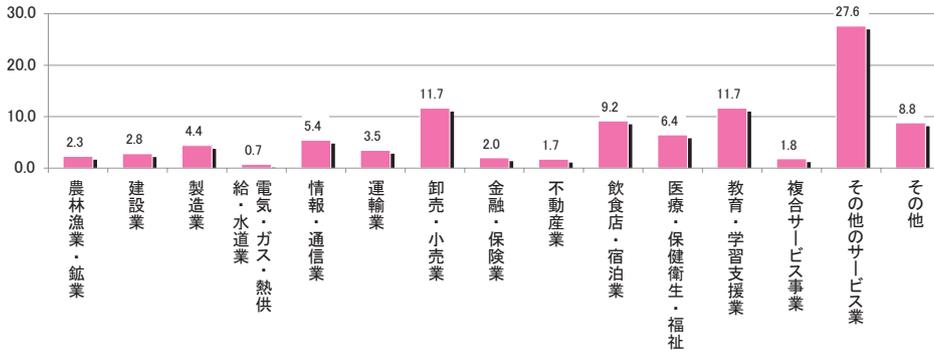
「収入を増やしたいから」（六一・三％）、「一つの仕事だけでは生活自体が営めないから」（二六・六％）などの収入面の理由が上位にくるが、次いで「自分が活躍できる場を広げたいから」（二二・三％）、「様々な分野の人とつながりができるから」（二二・一％）などと、本業が正社員であるためか、副業を通じて仕事の広がりや理由にあげる割合も高い。

「本業・非雇用者＋副業・非正社員」も、「収入を増やしたいから」（五五・五％）、「一つの仕事だけでは生活自体が営めないから」（四一・五％）などの収入面の理由が上位にくるが、次いで「様々な分野の人とつながりができるから」（二六・二％）、「時間にゆとりがあるから」（二四・一％）などが続く。「本業・非雇用者＋副業・非雇用者」は、「収入を増やしたいから」（四二・五％）がもっとも割合が高いものの、このタイプでは二番目に割合が高かったのは「自分が活躍できる場を広げたいから」（三四・三％）であり、「様々な分野の人とつながりができるから」（二三・九％）、「現在の仕事で培った能力を活用するため」（二三・二％）の割合も高い。「自分が活躍できる場を広げたいから」は、「本業・正社員＋副業・非雇用者」（三三・四％）など副業が非雇用者のタイプでいずれも高い割合となっている（図表11）。

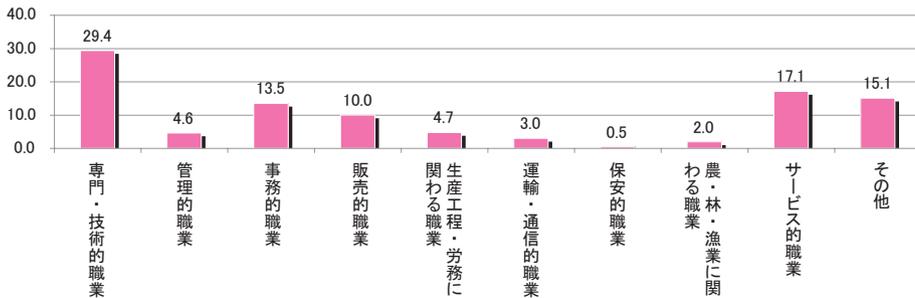
図表11：副業をしている理由（本業と副業の就業形態の組み合わせタイプ別、複数回答、単位：％）

| 本業・副業の組み合わせ | 全体(n) | 理由 | | | | | | | | | | | その他 | |
|-----------------|--------|------------|------------------|--------------------|--------------------|------------|----------------------|------------------|--------------------|--------------------|------------|----------------------|------|------|
| | | 収入を増やしたいから | 自分が活躍できる場を広げたいから | 様々な分野の人とつながりができるから | 現在の仕事で培った能力を活用するため | 収入を増やしたいから | 一つの仕事だけでは生活自体が営めないから | 自分が活躍できる場を広げたいから | 様々な分野の人とつながりができるから | 現在の仕事で培った能力を活用するため | 収入を増やしたいから | 一つの仕事だけでは生活自体が営めないから | | |
| 全体 | 10,803 | 52.7 | 26.8 | 26.5 | 21.2 | 20.4 | 16.8 | 14.7 | 14.2 | 9.7 | 7.9 | 6.3 | 2.4 | 4.8 |
| 本業・非正社員＋副業・非正社員 | 2,620 | 64.0 | 19.5 | 31.6 | 17.8 | 26.0 | 14.0 | 7.8 | 8.7 | 10.6 | 5.2 | 2.8 | 2.6 | 2.1 |
| 本業・非雇用者＋副業・非雇用者 | 2,531 | 42.5 | 34.3 | 24.1 | 23.9 | 19.4 | 17.9 | 23.2 | 13.9 | 6.1 | 13.4 | 4.3 | 1.1 | 4.8 |
| 本業・正社員＋副業・非雇用者 | 1,503 | 47.3 | 33.4 | 12.6 | 23.1 | 12.9 | 17.6 | 17.0 | 23.8 | 7.3 | 6.3 | 16.4 | 4.1 | 8.7 |
| 本業・非雇用者＋副業・非正社員 | 1,370 | 55.5 | 23.4 | 41.5 | 26.2 | 24.1 | 16.4 | 13.7 | 6.3 | 11.6 | 7.2 | 2.9 | 0.7 | 3.4 |
| 本業・正社員＋副業・非正社員 | 1,319 | 61.3 | 22.3 | 26.6 | 21.1 | 17.5 | 19.0 | 13.2 | 9.8 | 17.7 | 8.6 | 5.1 | 4.7 | 2.0 |
| 本業・非正社員＋副業・非雇用者 | 1,244 | 47.0 | 28.0 | 21.6 | 16.8 | 19.9 | 16.2 | 10.8 | 28.9 | 7.3 | 3.2 | 10.9 | 1.7 | 9.6 |
| 本業・正社員＋副業・正社員 | 119 | 38.7 | 26.9 | 21.8 | 13.4 | 15.1 | 19.3 | 19.3 | 13.4 | 8.4 | 16.0 | 7.6 | 6.7 | 6.7 |
| 本業・非雇用者＋副業・正社員 | 78 | 33.3 | 17.9 | 25.6 | 16.7 | 15.4 | 30.8 | 20.5 | 5.1 | 6.4 | 16.7 | 3.8 | 1.3 | 7.7 |
| 本業・非正社員＋副業・正社員 | 19 | 31.6 | 15.8 | 26.3 | 10.5 | 15.8 | 21.1 | 10.5 | 15.8 | 5.3 | 0.0 | 0.0 | 15.8 | 15.8 |

図表12：副業の業種 (n=10,803、単位：%)



図表13：副業の仕事内容 (n=10,803、単位：%)



図表14：副業の仕事内容の本業との比較 (単位：%)

| 本業の仕事内容 | 全体 (n) | 副業の仕事内容との比較 | | | | 【同じ】計 | 【異なる】計 |
|---------------|--------|-------------|--------|--------|---------|-------|--------|
| | | まったく同じ | ほとんど同じ | かなり異なる | まったく異なる | | |
| 全体 | 10,803 | 2.3 | 22.2 | 29.9 | 45.7 | 24.5 | 75.6 |
| 専門・技術的職業 | 3,565 | 3.8 | 32.5 | 29.9 | 33.9 | 36.2 | 63.8 |
| 管理的職業 | 1,046 | 2.2 | 25.3 | 29.2 | 43.3 | 27.5 | 72.5 |
| 事務的職業 | 2,341 | 1.0 | 12.8 | 29.1 | 57.1 | 13.8 | 86.2 |
| 販売的職業 | 1,244 | 1.3 | 16.6 | 33.0 | 49.0 | 17.9 | 82.1 |
| 生産工程・労務に関わる職業 | 494 | 1.0 | 11.1 | 26.5 | 61.3 | 12.1 | 87.9 |
| 運輸・通信的職業 | 200 | 2.0 | 24.0 | 21.5 | 52.5 | 26.0 | 74.0 |
| 保安的職業 | 24 | 0.0 | 4.2 | 25.0 | 70.8 | 4.2 | 95.8 |
| 農・林・漁業に関する職業 | 99 | 1.0 | 12.1 | 31.3 | 55.6 | 13.1 | 86.9 |
| サービスの職業 | 1,244 | 2.3 | 19.0 | 32.8 | 46.0 | 21.2 | 78.8 |
| その他 | 546 | 1.8 | 20.7 | 26.4 | 51.1 | 22.5 | 77.5 |
| 本業の役職 | | | | | | | |
| 部長相当以上 | 552 | 4.2 | 31.2 | 28.8 | 35.9 | 35.3 | 64.7 |
| 課長相当 | 401 | 4.2 | 28.9 | 28.9 | 37.9 | 33.2 | 66.8 |
| 主任・係長相当 | 805 | 2.2 | 22.7 | 27.5 | 47.6 | 25.0 | 75.0 |
| 役職には就いていない | 5,061 | 2.3 | 18.2 | 28.9 | 50.6 | 20.5 | 79.5 |

(2) 副業の仕事内容
副業の業種は、「その他のサービス業」が二七・六%でもっとも多く、次いで「卸売・小売業」および「教育・学習支援業(それぞれ一・七%)」「飲食店・宿泊業(九・二%)」などの順となっている(図表12)。

副業の仕事内容は「専門・技術的職業」が二九・四%でもっとも多く、次いで「サービスの職業」(二七・一%)、

「事務的職業」(二三・五%)、「販売的職業」(一〇・〇%) などの順となっている(図表13)。

副業の仕事内容が、本業の仕事内容と同じか、異なるかを聞いたところ、「異なる」(かなり異なる)二九・九%と「まったく異なる」四五・七%の合計との回答が全体の四分の三を占めた。「同じ」「まったく同じ」二・三%、「ほとんど同じ」二二・二%は、二

四・五%と三割弱である。これを本業の仕事内容別にみると、「同じ」とする割合は、本業が「専門・技術的職業」の者でもっとも高く(三六・二%)、次いで、「管理的職業」(二七・五%)、「運輸・通信的職業」(二六・〇%)などの順となっている。

調査では本業の役職を尋ねている。そこで、本業の役職別にみると、役職が高いほど「同じ」割合が高くなって

いた(図表14)。専門・技術的職業や、管理的職業など、本業でより専門的な仕事に携わる者ほど、そのスキルを副業にも生かしているようだ。

次に、副業が本業にどの程度役立っているかについて尋ねたところ、「役立っている」(「大いに役立っている」一八・三%+「やや役立っている」三・五・二%)が五三・五%となっており、約半数が副業は本業に役立っていると回答している。「役立っていない」(「あまり役立っていない」二四・九%、「まったく役立っていない」二一・六%)は、四六・五%だった。

これを副業の仕事内容別にみていくと、「役立っている」が「専門・技術的職業」では七一・〇%、「管理的職業」では六七・五%に達している。一方、「保安的職業」「生産工程・労務に関わる職業」「農・林・漁業に関する職業」「運輸・通信的職業」では「役立っていない」が六〇%以上に達している。

また本業の仕事内容との差異別にみると、副業の仕事内容が本業に近いほど、本業に「役立っている」とする割合も高まる(図表15)。

4. 副業の労働時間と収入

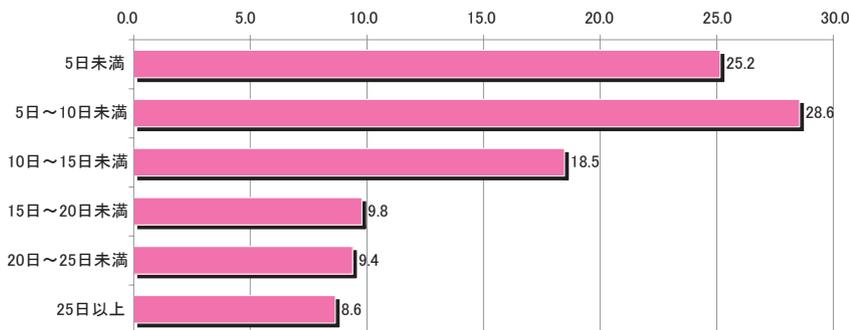
(1) 副業の労働時間

副業者の一カ月あたり副業日数(4)の平均は一〇・六日と、三日に一日程度の割合だった。副業日数の分布をみると、「五〜一〇日未満」が二八・六%でもっとも多く、次いで「五日未満」(二五・二%)、「一〇〜一五日未満」(一八・五%)、「一五〜二〇日未満」(九・八%)などが続く(図表16)。

図表15：副業の本業への役立ち度合い
(副業の仕事内容別・本業と副業の仕事内容の差別、単位：%)

| | | 全体(n) | 大いに役立っている | やや役立っている | あまり役立っていない | まったく役立っていない | 【役立っている】計 | 【役立っていない】計 |
|---------------|---------------|--------|-----------|----------|------------|-------------|-----------|------------|
| 全体 | | 10,803 | 18.3 | 35.2 | 24.9 | 21.6 | 53.5 | 46.5 |
| 副業の仕事内容 | 専門・技術的職業 | 3,177 | 30.7 | 40.3 | 16.6 | 12.4 | 71.0 | 29.0 |
| | 管理的職業 | 499 | 28.3 | 39.3 | 21.4 | 11.0 | 67.5 | 32.5 |
| | 事務的職業 | 1,460 | 10.1 | 34.9 | 30.8 | 24.3 | 44.9 | 55.1 |
| | 販売的職業 | 1,085 | 12.7 | 38.5 | 29.3 | 19.4 | 51.2 | 48.8 |
| | 生産工程・労務に関わる職業 | 512 | 9.0 | 23.6 | 28.3 | 39.1 | 32.6 | 67.4 |
| | 運輸・通信的職業 | 328 | 7.3 | 28.4 | 32.3 | 32.0 | 35.7 | 64.3 |
| | 保安的職業 | 51 | 7.8 | 11.8 | 39.2 | 41.2 | 19.6 | 80.4 |
| | 農・林・漁業に関わる職業 | 214 | 8.9 | 23.8 | 31.3 | 36.0 | 32.7 | 67.3 |
| | サービスの職業 | 1,847 | 12.9 | 36.2 | 27.7 | 23.2 | 49.2 | 50.8 |
| | その他 | 1,630 | 14.8 | 28.0 | 27.2 | 29.9 | 42.8 | 57.2 |
| 本業と副業の仕事内容の差異 | まったく同じ | 245 | 58.0 | 30.2 | 6.9 | 4.9 | 88.2 | 11.8 |
| | ほとんど同じ | 2,394 | 38.0 | 48.9 | 10.6 | 2.5 | 86.9 | 13.1 |
| | かなり異なる | 3,226 | 18.2 | 44.9 | 28.4 | 8.5 | 63.1 | 36.9 |
| | まったく異なる | 4,938 | 6.8 | 22.4 | 30.6 | 40.2 | 29.2 | 70.8 |

図表16：1か月あたりの副業日数 (n=10,803、単位：%)



図表17：1か月あたりの副業をする日数 (本業の就業形態別・副業の就業形態別、単位：%)

| | | 全体(n) | 5日未満 | 5日～10日未満 | 10日～15日未満 | 15日～20日未満 | 20日～25日未満 | 25日以上 |
|---------|--------------|--------|------|----------|-----------|-----------|-----------|-------|
| 全体 | | 10,803 | 25.2 | 28.6 | 18.5 | 9.8 | 9.4 | 8.6 |
| 本業の就業形態 | 正社員 | 2,941 | 29.0 | 30.1 | 17.6 | 8.5 | 7.2 | 7.5 |
| | 契約・嘱託社員 | 894 | 25.6 | 31.8 | 19.6 | 8.9 | 7.7 | 6.4 |
| | パート・アルバイト | 2,362 | 27.9 | 30.8 | 17.1 | 8.9 | 8.5 | 6.8 |
| | 常用雇用型の派遣社員 | 295 | 33.2 | 31.9 | 16.9 | 7.5 | 6.1 | 4.4 |
| | 登録型の派遣社員 | 321 | 35.5 | 32.1 | 15.3 | 8.4 | 4.4 | 4.4 |
| | 期間工・季節工・日雇 | 11 | 36.4 | 18.2 | 18.2 | 9.1 | 0.0 | 18.2 |
| | 会社などの役員 | 360 | 23.1 | 24.4 | 19.7 | 8.1 | 11.9 | 12.8 |
| | 自営業主 | 1,706 | 15.9 | 23.9 | 18.5 | 12.9 | 14.1 | 14.7 |
| | 家族従業員・家業の手伝い | 346 | 17.3 | 24.3 | 20.5 | 11.6 | 13.9 | 12.4 |
| | 自由業・フリーランス等 | 1,493 | 21.2 | 25.9 | 22.2 | 11.3 | 10.9 | 8.5 |
| その他 | 74 | 39.2 | 28.4 | 10.8 | 9.5 | 9.5 | 2.7 | |
| 副業の就業形態 | 正社員 | 216 | 13.4 | 20.4 | 15.7 | 9.7 | 25.0 | 15.7 |
| | 契約・嘱託社員 | 785 | 28.9 | 27.8 | 19.5 | 8.2 | 10.1 | 5.6 |
| | パート・アルバイト | 3,812 | 22.5 | 29.7 | 19.8 | 11.6 | 10.5 | 5.9 |
| | 常用雇用型の派遣社員 | 122 | 26.2 | 23.8 | 18.0 | 11.5 | 18.9 | 1.6 |
| | 登録型の派遣社員 | 496 | 40.7 | 33.7 | 13.5 | 6.0 | 4.2 | 1.8 |
| | 期間工・季節工・日雇 | 94 | 41.5 | 29.8 | 11.7 | 6.4 | 5.3 | 5.3 |
| | 会社などの役員 | 306 | 27.5 | 24.5 | 19.0 | 6.9 | 8.8 | 13.4 |
| | 自営業主 | 1,052 | 19.1 | 25.1 | 17.6 | 10.9 | 10.1 | 17.2 |
| | 家族従業員・家業の手伝い | 524 | 30.0 | 26.3 | 15.1 | 8.8 | 7.6 | 12.2 |
| | 自由業・フリーランス等 | 3,194 | 25.1 | 29.2 | 18.9 | 9.0 | 7.8 | 10.0 |
| その他 | 202 | 42.6 | 27.2 | 14.4 | 5.4 | 5.0 | 5.4 | |

これを本業の就業形態別にみると、「正社員」や「契約・嘱託社員」「パート・アルバイト」では、「一〇日未満」「五日未満」+「五～一〇日未満」の割合がそれぞれ六割程度を占めている。一方、「会社などの役員」「自営業主」でも一〇日未満の割合が高いことになりはしないが、「一〇日未満」の他に「二〇～二五日未満」「二五日以上」の割合も高い。

次に、副業の就業形態別にみると、副業が「パート・アルバイト」「自由業・フリーランス等」では「五～一〇日未満」(それぞれ二九・七%、一九・二%)の割合がもっとも高い。「自営業主」では「二五日以上」の割合も他の就業形態に比べて高くなっている(図表17)。副業で一日あたりどのくらいの時間を実際に働いているか(一日あたりの副業をする時間数⑤)については、「三～五時間未満」が三三・七%でもっとも多く、次いで「五～八時間未満」(二八・八%)、「三時間未満」(一九・二%)などの順であった(図表18)。

これを副業の就業形態別にみると、どの就業形態も「三～五時間未満」と「五～八時間未満」の割合が高くなっているが、「会社などの役員」「自営業主」「自由業・フリーランス等」では「三時間未満」の割合の高さも目立っている(図表19)。

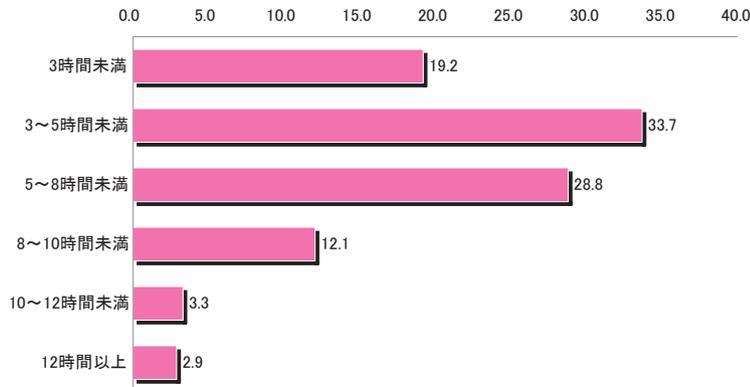
(2) 副業の収入

一か月あたりの副業収入⑥は、「五

万円～一〇万円未満」が二七・二%で、もっとも多く、次いで「一〇万円～一五万円未満」(二三・七%)、以下「三万円～四万円未満」(一一・六%)、「二万円～三万円未満」(一一・〇%)、などの順となっている(図表20)。

副業の就業形態別にみると、「正社員」では「二〇万円以上」が四一・二%と四割以上となっており、「会社などの役員」も「二〇万円以上」が四五・四%

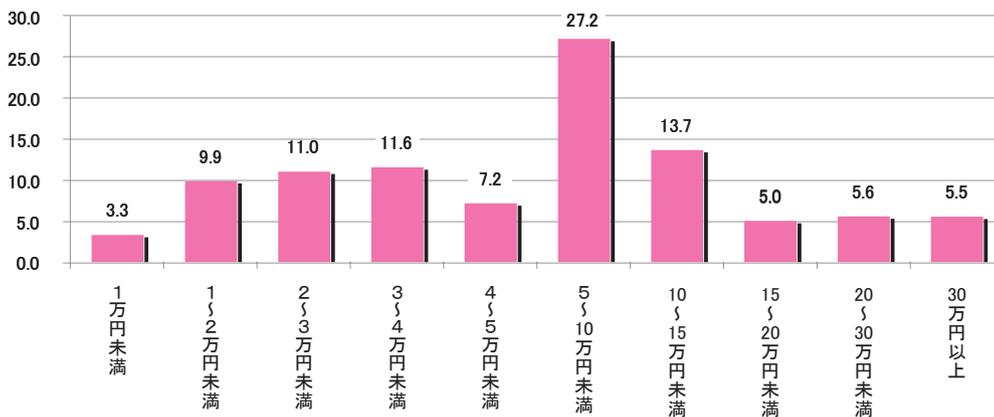
図表18：1日あたりの副業をする時間数 (n=10,803、単位：%)



図表19：1日あたりの副業をする時間数 (副業の就業形態別、単位：%)

| | | 全体 (n) | 3時間未満 | 3～5時間未満 | 5～8時間未満 | 8～10時間未満 | 10～12時間未満 | 12時間以上 |
|---------|--------------|--------|-------|---------|---------|----------|-----------|--------|
| 全体 | | 10,803 | 19.2 | 33.7 | 28.8 | 12.1 | 3.3 | 2.9 |
| 副業の就業形態 | 正社員 | 216 | 19.4 | 28.2 | 25.5 | 18.5 | 4.6 | 3.7 |
| | 契約・嘱託社員 | 785 | 16.3 | 33.0 | 28.4 | 15.4 | 3.4 | 3.4 |
| | パート・アルバイト | 3,812 | 12.3 | 34.2 | 35.0 | 13.6 | 2.5 | 2.4 |
| | 常用雇用型の派遣社員 | 122 | 8.2 | 12.3 | 42.6 | 29.5 | 2.5 | 4.9 |
| | 登録型の派遣社員 | 496 | 7.7 | 18.1 | 34.9 | 32.9 | 3.6 | 2.8 |
| | 期間工・季節工・日雇 | 94 | 7.4 | 17.0 | 23.4 | 30.9 | 11.7 | 9.6 |
| | 会社などの役員 | 306 | 27.8 | 36.6 | 24.2 | 5.6 | 3.3 | 2.6 |
| | 自営業主 | 1,052 | 24.3 | 35.0 | 24.8 | 8.7 | 4.2 | 2.9 |
| | 家族従業員・家業の手伝い | 524 | 27.9 | 31.7 | 27.9 | 8.0 | 2.5 | 2.1 |
| | 自由業・フリーランス等 | 3,194 | 25.9 | 37.1 | 23.0 | 7.1 | 3.8 | 3.2 |
| | その他 | 202 | 33.7 | 32.2 | 19.8 | 9.4 | 2.0 | 3.0 |

図表20：1か月あたりの副業での収入 (n=10,803、単位：%)



これを副業禁止の有無別にみると、「禁止されている」とした者の六七・四％が「知らせていない」としている。また、「禁止されていない」者では四一・八％と半数弱が「知らせている」と回答しており、「正式な届け出などはしていませんが、上司や同僚は知っている」（三〇・七％）を加えると、七二・五％が副業をしていることを勤め先に知らせていた。なお、勤め先が副業を禁止しているか「わからない」とする者の六二・八％は知らせておらず、その割合は、「禁止されている」とした者とほとんど差はない（図表23）。

なお、本業の就業形態を「正社員」と「非正社員」で分けて、副業禁止の有無別にみても、正社員、非正社員でこの傾向に大きな差は見られない。正社員に着目してみると、「禁止されていない」とした者のうち、四八・九％と約半数が勤め先に副業について知らせている。「正式な届け出などはしていませんが、上司や同僚は知っている」（二八・三％）を加えると、七七・二％が何らかの形で、勤め先に副業について知らせていることになる。一

と多くなっている。「パート・アルバイト」では「五～一〇万円未満」（三二・七％）がもっとも多い（図表21）。

5. 副業の禁止・通知の状況

本業の就業形態が雇用者である者に対し、本業の勤め先で副業が禁止されているかを尋ねたところ、二二・一％は「禁止されている」と回答し（7）、六五・二％が「禁止されていない」、二二・八％が「わからない」と答えた。

本業が正社員の者をみると、二二・四％が「禁止されている」としている。なお、本業のみの人にも同じ設問で尋ねており、「禁止されている」が四二・一％、「禁止されていない」が三二・四％、「わからない」が二四・五％となっている。本業のみの人の正社員だけでみると、「禁止されている」は五三・二％だっ

た（図表22）。副業していることを本業の勤め先に知らせているかどうかについてみると、「知らせている」が三二・七％で、「正式な届け出などはしていませんが、上司や同僚は知っている」が二八・六％、「知らせていない」が三九・七％となっている。

これを副業禁止の有無別にみると、「禁止されている」とした者の六七・四％が「知らせていない」としている。また、「禁止されていない」者では四一・八％と半数弱が「知らせている」と回答しており、「正式な届け出などはしていませんが、上司や同僚は知っている」（三〇・七％）を加えると、七二・五％が副業をしていることを勤め先に知らせていた。なお、勤め先が副業を禁止しているか「わからない」とする者の六二・八％は知らせておらず、その割合は、「禁止されている」とした者とほとんど差はない（図表23）。

図表21：1カ月あたりの副業での収入（副業の就業形態別、単位：%）

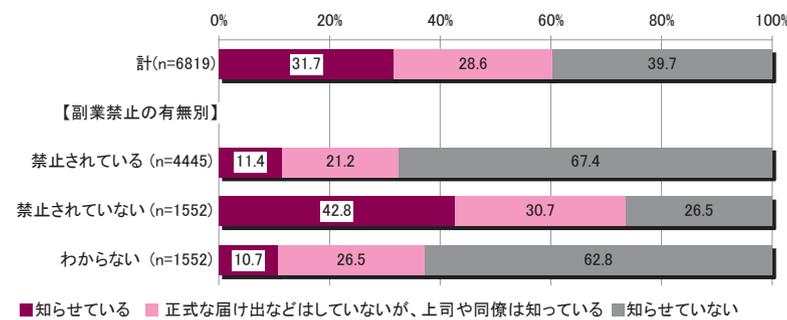
| | | 全体 (n) | 1万円未満 | 1~2万円未満 | 2~3万円未満 | 3~4万円未満 | 4~5万円未満 | 5~10万円未満 | 10~15万円未満 | 15~20万円未満 | 20万円以上 |
|---------|--------------|--------|-------|---------|---------|---------|---------|----------|-----------|-----------|--------|
| 全体 | | 10,803 | 3.3 | 9.9 | 11.0 | 11.6 | 7.2 | 27.2 | 13.7 | 5.0 | 11.1 |
| 副業の就業形態 | 正社員 | 216 | 0.5 | 0.5 | 4.6 | 3.2 | 2.3 | 18.1 | 17.6 | 12.0 | 41.2 |
| | 契約・嘱託社員 | 785 | 2.0 | 5.7 | 9.3 | 8.4 | 6.5 | 27.8 | 15.8 | 9.9 | 14.5 |
| | パート・アルバイト | 3,812 | 2.6 | 9.7 | 11.4 | 13.5 | 10.5 | 32.7 | 12.0 | 3.5 | 4.1 |
| | 常用雇用型の派遣社員 | 122 | 2.5 | 3.3 | 9.0 | 8.2 | 8.2 | 23.8 | 23.8 | 7.4 | 13.9 |
| | 登録型の派遣社員 | 496 | 3.8 | 11.1 | 16.7 | 13.7 | 10.9 | 25.6 | 8.7 | 4.2 | 5.2 |
| | 期間工・季節工・日雇 | 94 | 9.6 | 16.0 | 10.6 | 9.6 | 8.5 | 18.1 | 11.7 | 3.2 | 12.8 |
| | 会社などの役員 | 306 | 0.3 | 1.6 | 3.9 | 4.2 | 1.6 | 16.0 | 20.3 | 6.5 | 45.4 |
| | 自営業主 | 1,052 | 1.2 | 5.0 | 6.8 | 9.0 | 2.9 | 25.3 | 19.8 | 6.7 | 23.3 |
| | 家族従業員・家業の手伝い | 524 | 6.1 | 15.3 | 11.6 | 13.5 | 5.9 | 27.7 | 13.5 | 2.3 | 4.0 |
| | 自由業・フリーランス等 | 3,194 | 4.8 | 12.8 | 12.5 | 11.7 | 5.0 | 23.7 | 13.1 | 5.1 | 11.4 |
| | その他 | 202 | 6.4 | 16.3 | 12.9 | 9.9 | 9.9 | 24.8 | 7.9 | 3.0 | 8.9 |

図表22：本業の勤め先で副業が禁止されているか（単位：%）

| | | 禁止されている | 禁止されていない | わからない |
|--------|--------------|---------|----------|-------|
| 本業のみの人 | 計(n=1659) | 43.1 | 32.4 | 24.5 |
| | 正社員(n=1244) | 53.2 | 23.9 | 22.9 |
| | 非正社員(n=415) | 12.8 | 58.1 | 29.2 |
| 副業者 | 計(n=6819) | 12.1 | 65.2 | 22.8 |
| | 正社員(n=2938) | 22.4 | 52.6 | 25.0 |
| | 非正社員(n=3881) | 4.2 | 74.7 | 21.1 |

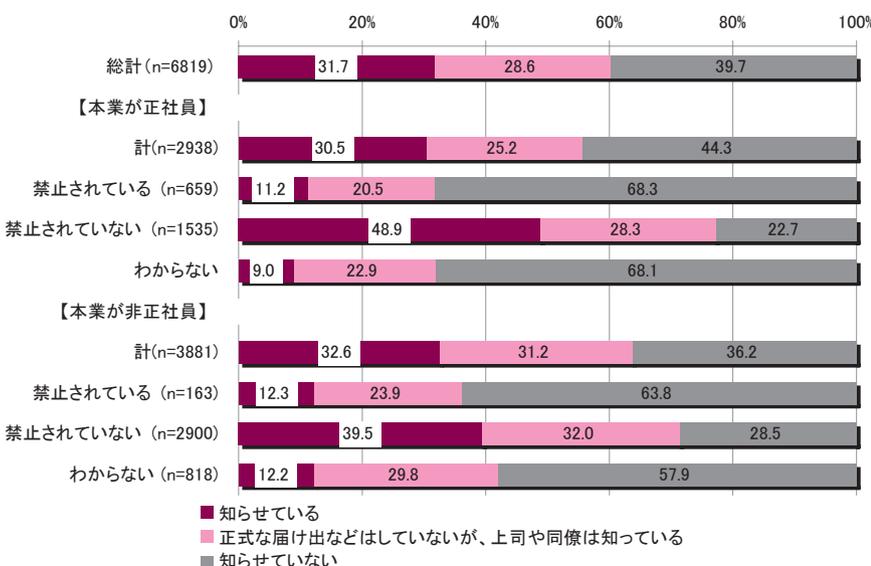
※本業が雇用者である者を対象に集計。

図表23：副業していることの本業勤め先への通知（n=6,819）



※本業が雇用者である者を対象に集計。

図表24：就業形態別にみた副業していることの本業勤め先への通知（n=6,819）



※本業が雇用者である者を対象に集計。

方、「禁止されている」及び「わからない」では、七割弱が「知らせていない」としていた（図表24）。

（調査・解析部 荒川創太・奥田栄二）

〔注〕
1. 本調査では、「副業が一つの人」及び「副業が二つ以上の人」の二種類の調査を実施している。そのため、「副業が二つ以上の人」については、最も収入の多い副業と二番目に収入の多い副業の二種類の副業について尋ねている。そこで副業者の集計においては、ここでは、「副業が一つの人」の副業と「副業が二つ以上の人」の最も収入の多い副業を統合して集計した（以下、同じ）。

2. 調査設問では、仕事の数について、「仕事は一つだけ」「仕事は二つ」「仕事は三つ以上」の三つの選択肢で尋ねている。ここでは、「仕事は一つだけ」を「本業のみの人」（副業を持っていない人）とし、「仕事は二つ」を「副業が一つの人」とし、「仕事は三つ以上」を「副業が二つ以上の人」としている。

3. ここでの「本業の就業形態（三区区分）」とは、本業の就業形態が「正社員」の場合は「正社員」とし、「契約・嘱託社員」「パート・アルバイト」「常用雇用型の派遣社員」「登録型の派遣社員」「期間工・季節工・日雇」の場合は「非正社員」とし、それ以外の就業形態（「自営業主」や「自由業・フリーランス等」など）の場合は「非雇用者」として分類した（以下、同じ）。

4. 直近の月の実績で回答してもらった。一日に一時間でも働けば一日と換算してもらった。

5. 直近の週の実績で回答してもらった。残業時間も含めて回答してもらった。

6. 直近の月の実績で回答してもらった。税金・社会保険料などを差し引かれる前の額、かつ残業代は含むがボーナス・退職金は含まない額で

7. 回答してもらった。副業者の「禁止されている」との回答割合が一二・一%にとどまった理由として、勤め先で副業が禁止されていないから副業をしているという人が回答者に多く含まれていることが考えられる。